



亀中だより

No.40 令和5年2月3日 文責:岡田



For The Students!

亀山中学校「いのちの日」講演 腰塚勇人さん 命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～

1月26日、元中学校保健体育教師、養護学校教員で講演家の腰塚勇人さんを講師にお迎えして、亀山中学校「いのちの日」講演会を開催しました。

腰塚さんは、中学校でバスケットボール部の顧問などに従事したいわゆる“熱血教師”でした。そんな腰塚先生は2002年、スキー中に転倒し、頸椎骨折という大ケガに襲われました。奇跡的に命はとりとめたものの全身が動かない麻痺(まひ)状態、絶望的な感情に突き落とされながらも、周囲の励ましと応援を受け、懸命なりハビリに臨み、職場復帰を果たしました。その後は命の大切さ、生きることの素晴らしさなどを講演や著書を通じて、全国で活動されています。

本校での講演会でも、全校生徒を対象に、「つらい時の一歩」「リハビリをがんばれた理由」「命と向き合って」「ケガからの宿題」「みんなへの宿題」とご講演をいただきました。たくさんのメッセージが含まれていましたが、みんなはどんな言葉にひかれたのでしょうか。そしてあなたの「自分の命を喜ばせる行動」「友だち、家族を喜ばせる行動」は何と決めたいのでしょうか。私もみんなと“一緒に”このきっかけを自分のものとして続けていきたいと思いました。

腰塚さんはご自身の経験から、「自分と他人の命を傷つけない」ということ、そして、「命の喜ぶ幸動(こうどう)」をする」という考えに至り、それを具体的にするための自分との約束を、「5つの誓い」として示されています。それが講演にもあった下の言葉です。腰塚さんは「命の使い方」という言葉で話されていますが、なんとも素敵な言葉です。講演を聞いたものばかりでなく、誰にとっても心に留めたい言葉です。今回のご縁をきっかけとして、この「命の喜ぶ幸動」「5つの誓い」のような「命の使い方」を大切にしていきたいものです。



写真等は腰塚さんのオフィシャルサイトからお借りしました